

転倒骨折を軽減する床「ころやわ」を開発する Magic Shields が、ひろしまサンドボックス

「D-EGGS PROJECT」に採択され、広島県内の病院にて実証実験を開始

メカニカルメタマテリアル技術を駆使して、転んだときだけ柔らかくなる床「ころやわ」の開発に成功した株式会社 Magic Shields（本社：静岡県浜松市、代表取締役：下村 明司、以下「当社」）が、2021年4月21日にひろしまサンドボックス「D-EGGS PROJECT」にて採択されました（テーマ：新型コロナへの地域医療のレジリエンス強化）。これにより、2021年5月から広島県内の医療施設に「ころやわ」を順次設置。転倒骨折予防に向けた実証実験を開始します。

■ ひろしまサンドボックス「D-EGGS PROJECT」とは

コロナ禍のニューノーマル時代を再定義するアイデア（製品やアプリ・サービスなど）を全国から広く募集するプロジェクトです。当社は「広島県内の医療施設での、患者の転倒骨折を軽減する、転んだときだけ柔らかい床“ころやわ”」というアイデアで応募をし、2021年4月21日、応募総数391社の中から採択企業の1社に選ばれ、広島県知事の参加する記者発表会で公表されました。

・D-EGGS PROJECT 公式サイト：<https://newnormal.hiroshima-sandbox.jp/>

■ 高齢者の転倒による骨折を防ぎ、最終的に医療費・介護費1兆円の削減を目指す

当社が提供する「患者の転倒骨折を軽減する、転んだときだけ柔らかい床“ころやわ”」とは「ころやわ」は歩行や杖、車椅子では凹まず、一方転んだ時には柔らかく凹んで衝撃を半減します。これはメカニカルメタマテリアルの概念を応用したもので、素材では出せない特性を独自の構造体で実現しています。そしてこの骨折軽減効果と医療費・介護費の削減効果を、広島県で確かめます。

当社は広島県での実証実験から、最終的には高齢者の大腿骨骨折にかかる日本国内の医療費および介護費1兆円の削減を目指します。



■ 代表下村よりコメント

この度、このような素晴らしい機会を頂き、チーム一同大変嬉しく思っております。高齢者の3人に1人が転倒しており、誰もが直面する課題です。実際私の祖母も転倒骨折から寝たきりとなり、本人も家族も大変辛い思いをしました。今回の実証実験にて、広島県の皆様により良い医療・介護をご提供し、安心して暮らせる老後を提供できるよう尽力して参ります。そして広島をきっかけに世界中に安全な環境を広めて行きます。このプロジェクトに関わってくださる医療機関や行政の皆様、誠に有り難うございます。

<今後のスケジュール（予定）>

- ・実証実験期間 / 令和3年4月下旬～10月中旬（予定）
- ・「ころやわ」設置 / 令和3年5月下旬～（予定） * 順次、県内医療機関へ設置予定
- ・成果発表会 / 令和3年10月中下旬（予定）

■ 会社概要

- ・所在地 : 〒431-3122 静岡県浜松市東区有玉南町 1867-1
- ・代表取締役 : 下村 明司（しもむら ひろし）
- ・設立 : 2019年11月
- ・事業内容 : 床・介護福祉用品・安全用品の製造、販売
デジタルコンテンツ及びアプリケーションソフトウェアの企画販売
- ・WEBサイト : <https://www.magicshields.co.jp/>
- ・Facebook : <https://www.facebook.com/magicshields/>

■ お問い合わせ

「ころやわ」の詳しいご説明や、無料体験サンプル品のお貸出しをご希望の医療機関様、高齢者向け施設様は、弊社カスタマーサポートからお問い合わせください。

また本リリースに関する報道お問い合わせも承ります。

<株式会社 Magic Shields カスタマーサポート>

- ・E-mail : contact@magicshields.co.jp
- ・Web お問い合わせ : <https://www.magicshields.co.jp/demoorder/>
- ・代表電話 : 050-1742-4400（平日午前10時～午後6時）
- ・担当（営業/広報） : 宝田 優子（たからだ ゆうこ）